



ホンダBF20をセットして軽快に走るテルヒ・ノルディック6020。クリンカー張り風の丸い船体、ガンネル上のレールなど、雰囲気のある楽しいボートである



ディック6020のデッキ、フィッシュボックス、ガンネル内側のもようとした物を置くスペース、フィッシングユースとしてかなり考えられた。



ホンダBF15をセットしたアキレスSEI-365。軽量化タイプのモデルで快適なパフォーマンスを見せる。20馬力推奨だが、15馬力でも十分そうだし、また限定沿海5海里の航行区域取得が可能だ



このSEIはエアボードと呼ばれる空気式のフロア仕様だが、別に組み立て式のウッドフロアを採用したSEWモデルもあり、両者はフロアが交換可能となっている

この5月に発表されたBF15は、基本的に0.35Lの排量を持つ同一エンジンで、チューニングの違いにより最大馬力を分けたもの。
特徴のひとつは、ガスアシストとは、パワーアシストのチルト・リイーションがあることで、扱が容易になっている点だ。
さらに、EPA2006年度規格よりももちろん、より厳しいアメリカカリフォルニア州大気資源局(ARB)の2008年度排ガス

規制をクリアしているほか、始動については、電動始動の仕様があるほか、デコンプ・システムが搭載され、リコイル(手動)スターとも容易にできるように考えられている。4ストロークならではの経済性、低振動性はいうまでもない。
これらのエンジンを、テルヒ・ノルディック6020と、アキレスSEI-365にセットして試乗した。
テルヒはフィンランドのメーカ

小型艇ならではの軽快感を満喫 ホンダの小馬力4スト船外機・BF20 / 15 & テルヒ・ノルディック6020 / アキレスSEI-365



ガスアシストチルトを装備したホンダBF20(電動チルト仕様もあり)。他メーカーでよく見かける25馬力船外機に比べると、非常に軽量コンパクトにまとまっている。部品に使用済み漁網などを再生利用し、リサイクル率95%を達成するなど、排ガス規制だけでなく、環境に十分配慮したエンジンとなっている

BOAT CLUB IMPRESSION テルヒ・ノルディック6020

おもな仕様
●全長:4.62m ●全幅:1.87m ●船体重量:200kg
●定員:5名 ●最大搭載馬力:30馬力
●推進方式:船外機 ●航行区域:限定沿海
●船体価格:485,000円(船体のみ、消費税別)

問い合わせ
ヨットイングワールド
〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井1594-10
TEL: 0559-78-1477
<http://members.tripod.co.jp/yachting/>

アキレスSEI-365

おもな仕様
●全長:3.65m ●全幅:1.68m ●チューブ径:0.45m
●船体重量:57.5kg ●定員:6名 ●推奨馬力:20馬力
●推進方式:船外機 ●航行区域:限定沿海(15馬力以上・5海里/15馬力未満・3海里)
●価格:433,000円(キャリアバッグ、付属品込み、消費税別)

問い合わせ
アキレス引布販売部
〒160-8885 東京都新宿区大京町22
TEL: 03-3225-2186
URL: <http://www.comin.co.jp/achilles-boat/>

1で、全長2.35メートルから4.70メートルまでの個性ある小型ローボート/パワーボートをラインナップしている。
すでに29年の歴史があり、ボートの建造実績は15万隻を超えるそうだが、その最大の特徴は材料にABS樹脂を使用し、アルミ製の型で製造していることだろう。ハルとデッキの間にフォームを入れ、サンドイッチ構造により剛性と浮力を与えているのは、メーカーは違うがポストンホエラーと同様だ。
ABSは熱可塑性(熱で溶ける)樹脂で、再利用性に優れているもの。また従来のFRPは製造者にとっても環境的に良好とはいえないので、このような材料の使用はもっと奨められるべきと思われる。

試乗艇のノルディック6020は、全長4.62メートル、全幅1.87メートル、全重量200kg、最大搭載馬力30馬力、定員5名、限定沿海航行区域取得が可能だ。
一方のアキレスSEI-365は、全長3.65メートル、全幅1.68メートル、全重量57.5kg、最大搭載馬力20馬力、定員6名、限定沿海航行区域取得が可能だ。
この2艇は、どちらも非常に軽快な走りをする。特にBF20は、軽快な走りだけでなく、安定した走りも特徴的だ。このクリンカー風の木造艇を思いやるクラシックな雰囲気がある。このクリンカー的な細かい段差には、ABSの弱点となりがちなハル剛性を増す効果も考えられる。
ホンダBF20(20馬力)を搭載しての走りは極めて軽快。基本的にはフィッシングユースがメインだと思うが、フリーボードも十分に高く、ヒールしたあとの粘り腰(それ以上は傾きにくい性質)もある。安全に多用途に使える印象を受けた。見て乗って、楽しいボートである。
なお、最大搭載馬力は30馬力。ほかのバリエーションとしてコンソール付きもある。

一方のアキレスSEI-365は、全長3.65メートル、全幅1.68メートル、全重量57.5kg、最大搭載馬力20馬力、定員6名、限定沿海航行区域取得が可能だ。
この2艇は、どちらも非常に軽快な走りをする。特にBF15は、軽快な走りだけでなく、安定した走りも特徴的だ。このクリンカー風の木造艇を思いやるクラシックな雰囲気がある。このクリンカー的な細かい段差には、ABSの弱点となりがちなハル剛性を増す効果も考えられる。
ホンダBF15(15馬力)を搭載しての走りは極めて軽快。基本的にはフィッシングユースがメインだと思うが、フリーボードも十分に高く、ヒールしたあとの粘り腰(それ以上は傾きにくい性質)もある。安全に多用途に使える印象を受けた。見て乗って、楽しいボートである。
なお、最大搭載馬力は20馬力。ほかのバリエーションとしてコンソール付きもある。

87メートルのオープンボート。ローボート風のスタイルで、クリンカー張り(縫張り)風の木造艇を思いやるクラシックな雰囲気がある。このクリンカー的な細かい段差には、ABSの弱点となりがちなハル剛性を増す効果も考えられる。
ホンダBF20(20馬力)を搭載しての走りは極めて軽快。基本的にはフィッシングユースがメインだと思うが、フリーボードも十分に高く、ヒールしたあとの粘り腰(それ以上は傾きにくい性質)もある。安全に多用途に使える印象を受けた。見て乗って、楽しいボートである。
なお、最大搭載馬力は30馬力。ほかのバリエーションとしてコンソール付きもある。

最大搭載可能エンジンは25馬力だが、ホンダBF15をセットした試乗艇でもパワーは十分すぎるほど。平水面ではそのスピードをフルに生かせるだろう。
チューブはハイバロン(デュボ社の商品名)製で、全部で4気筒に分かれる。組み立ても至って簡単で、長さ1.4メートルほどのキャリアバッグに入れて持ち運ぶことができる。空気の出し入れも含めて、このあたりは長年の経験と実績が生かされており、十八子なれたものといえよう。
定員は6名。積載重量は790kg。キロである。

ボートとして使いやすいサイズのエアボードはフロアとして全周を覆い、その下にエアキールが張り、船底のV角度を作り出して、ウッドフロア式ほどではなかもいれないが、十分な走行性がある。
最大搭載可能エンジンは25馬力だが、ホンダBF15をセットした試乗艇でもパワーは十分すぎるほど。平水面ではそのスピードをフルに生かせるだろう。
チューブはハイバロン(デュボ社の商品名)製で、全部で4気筒に分かれる。組み立ても至って簡単で、長さ1.4メートルほどのキャリアバッグに入れて持ち運ぶことができる。空気の出し入れも含めて、このあたりは長年の経験と実績が生かされており、十八子なれたものといえよう。
定員は6名。積載重量は790kg。キロである。